

全国のロータリーユーザーが注目！ 「R Magicのエンジンは速くて壊れない」 各レースでも存在感をPR

R Magic

R Magic(南大原・相模原市中
央区田名、大原幸弘社長、042・
764・7077、<http://www.rmagic.jp>)は、MAZDA車のメンテナンス、チューンナップを主業としている。特に、ロータリーエンジンの関しての技術の高さは全国的にも知られており、日本各地からコアなユーザーが来店される。

同社がロータリーエンジンのスペシャリストとして名を上げるきっかけとなったのは、筑波サーキットでのタイムアタックである。当時、FR車では不可能と言われていた1周55秒台というタイムを、挑戦1年目であっさり出してみせたことで、一躍有名ショップの仲間入りを果たした。

同社が次に挑戦したのが、ドリフト走行では世界最高峰の競技「D1グランプリ」だ。平成20年から参戦し始め、今シーズンで10年目になる。シリーズチャンピオンはまだ果たせていないが、ラウンド優勝をはじめ、常に上位に食い込んでいる。

レースや競技に参加することは、過酷な条件下でのエンジンや車体の耐久性を向上させるにはどうすべきかを問う、得難い実験の場となっており、そこで培った技術やノウハウが確実にユーザーへフィードバックされている。 「R Magicのエンジンは速くて壊れない」という高評価につながる恰好のデモンストレーションというわけだ。



競技は、技術を磨き、PRする恰好のチャンス



同社の技術力を買うユーザーが全国から集まってくる

全国から、同社の技術を求めてロータリーユーザーが集まるとともに、派手なカラーリングの車体は雑誌、DVD、ニコ生などWEB媒体といった各種メディア露出も多く、走る広告塔としてスポンサー企業からも喜ばれている。

自動車業界以外のスポンサー企業の参入はまだ少ないので、これからは異業種のスポンサー獲得を課題に取組んでいく。